

## 1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	守山市立吉身保育園
代表者氏名(管理者)	大西 美幸
法人名	洛和会ヘルスケアシステム(社会福祉法人 洛和福祉会)
定員(利用人数)	150 名
施設・事業所 所在地	滋賀県守山市吉身 2-6-61
FAX	077-582-4477
TEL	077-582-4711
電子メール	
ホームページアドレス	<a href="https://www.rakuwa.or.jp/hoiku/yoshimi.html">https://www.rakuwa.or.jp/hoiku/yoshimi.html</a>

## 2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和7年 9月10日・11日 12月25日

## ○ 総合評価

守山市立吉身保育園は、守山市の中心に位置し、「だいすき よしみほいくえん」の合言葉のもと、人と人のつながりを大切に、40年の歴史を刻んできた保育園です。

2010(平成22)年4月より、守山市から洛和会ヘルスケアシステム(社会福祉法人 洛和福祉会)の委託事業となり現在に至っています。開設以来40年、守山市の地域状況に合わせた保育ニーズに応えつつ、子どもたちが、主体的に生活や遊びを繰り広げ、心豊かに育つよう、保育環境を整えてきました。大きな特徴のひとつとして縦割り保育を導入し、3歳から5歳の子どもたちが混成でクラスを編成することにより、核家族社会が定着してなお、本当の兄弟関係のような温かな関係性を築くことができています。また、法人の主体事業が病院であることから、看護師の人員配置や関わりも充足しており、感染症流行期も適切に対応することが可能になっています。

保護者との関係性も良好で協力し合う関係ができています。役員会も活発で保護者が協力して設備の修繕や補修が行われることもあります。駅から近く、京阪神への通勤圏内であることもあり、保護者の保育園に対するニーズは年々上昇傾向にあります。忙しい保護者が多く慌ただしくなりがちな日常の中でも、園長など職員は朝夕の短い時間に親子を出迎え、保護者の状況を見極め、親子を護る使命を果たしています。インスタグラムを開設して、内部での活動の様子を可能な限り「見える」ように工夫しています。保護者からは保育や日常生活の様子を見ることができるのは嬉しいと好評を得ています。

## ○特に評価できる点

### ①「昨年度の改善点に対応している」

昨年度第三者評価を受信した際の評価機関からの指摘事項に対し一定の改善が進んでいる点を確認しました。中・長期計画ビジョンに基づいて単年度の事業計画が立案され具体的な見通しを基準にして策定し、それを元に月毎、週毎の計画に細かく紐づけしていることが確認できました。今後は、既存の出生人数や人口動態の予測推移から保育園における数年間の受け入れ人数を想定し、具体的な人数推計を元に計画するならより良い内容に変化していくことが期待できます。また、“法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動、地域の活性化やまちづくりに貢献している”という点において現在に至るまで40年地域保育福祉に貢献してきましたが、より細かく表示や情報公開することによって、その事業や小さな取り組みを「可視化」することについて改善が進んでいることを確認しました。

### ②「災害時における子どもの安全確保のための組織的な取り組み」

これまでも災害対策や避難訓練など、有事に備えた活動は継続して取り組んでいました。しかし、昨年度の評価段階では、備蓄リストやその管理責任の所在が不明だった点が課題でした。今回の評価時にはそれが「可視化」されており、一歩前進した形です。今後も災害対策に隙が無いように取り組むと共に、近くに市役所があることに慢心せず、保育園が孤立した場合に備えたシミュレーションや訓練の継続が求められます。

## ○今後改善を要する点

### ①「具体的で”継続的な”事業計画の公表」

理念・基本方針はホームページ・パンフレットに掲載してあることが確認できており優しい色合いのホームページになっている他、パンフレットはイラストや写真入りでわかりやすく説明されています。Instagramも開設し可能な限り普段の保育の内容が動画や写真で見られるように工夫している部分も時代に合った取り組みと言えるので非常に効果的でよい取り組みと言えます。また、年間行事計画や幼児部会年間計画等の中で、単年度の事業計画が充実していることが確認できました。一方で、それが継続的な取り組みになっている事が確認できませんでした。今後は単年度の事業計画と反省に留まらず、複数年計画で事業の改善策を検討し”継続的に公開している”と明らかにできる取り組みが必要です。具体的な数値目標や成果を設定し、それを基準とした評価を行い公表することが期待されます。特に、第三者評価の評価は中立の立場から書かれていますので、ホームページなどに特設リンクを設け、その中で公表するなら、必要としている人に情報を公開し、より公益性の高い事業体へと成長できると期待できます。

### ②「否定的な情報を公開する工夫」

保護者会や役員会も好調で、保護者の協力も充足していて、開かれた保育園運営になっているように見える半面、否定的な意見や障害の公表といった部分ではまだまだ閉鎖的な状況が続いていると思われます。今後は、個人が特定できないものや公益性が高い事案(施設の環境や安全面、全般的な保育方針等に関する事)に関しては簡易に、分かり易く文章化し、「解決結果」として保護者の目につきやすい場所に掲示するなら、より高い水準で意見が述べやすい体制が確保されている環境になると考えます。

### ③「その他」

行事用等の荷物が廊下に多い印象を持ちました。有事に園児が安全に避難できるように平時から必要最低限の物が廊下等にある以外は備品室に片づけておきましょう。各種マニュアル類は他市保育園と比べ充実した内容が整備されています。水害土砂災害の避難確保計画が守山に即したものになっている点は昨年度の評価時から改善された点です。今後は現状複数ある災害関連のマニュアルをまとめ、目次や目録を明記し1冊のファイルに統合するならより分かりやすくなるでしょう。また、有事の権限移譲の組織をフローチャート化すること、時代に合わせ不審者侵入時の対応方法記載を別枠で記載するなど細かい改善を進める事が推奨されます。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、貴重なご意見・ご助言をいただき、心より感謝いたします。項目を一つ一つ確認しながら評価することができ、園運営や職員体制・保護者対応などを改めて考える機会になりました。今後も、評価内容を元に毎年少しずつでも見直しや改善を実施していけるよう努めたいと思います。

改善点としまして、保護者からのご意見などの公表につきましては、個人が特定できないものや公益性が高い事柄に関しましては、分かりやすく文章化したりしながら公開していければと思います。

また、災害マニュアルの統一を行い、誰が見ても分かりやすく利用できやすいものに変えていきたいと思えます。災害が起こったときに少しでも災害が防げるよう日頃から見直したり備蓄の管理をさらに行ったりしていきながら、子どもたちを守っていけるよう努力していきたいと思えます。

そして今後も保護者や保育園を見守ってくださる地域の皆さまのご支援やご協力を頂きながら、安心安全な園づくりに努めていきたいと思えます。